

令和2年度大学院入学試験問題

(中期募集)

教育実践高度化専攻

学習臨床・授業研究コース

注意事項

- 1 問題用紙と解答用紙とは別である。
- 2 解答は、解答用紙のマス目にそって記入すること。
- 3 解答用紙の1枚目の所定の欄に問題番号を記入すること。
- 4 解答用紙の1枚目、2枚目及び3枚目の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 5 試験終了後は、解答用紙のみ回収する。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ること。

次の問題1から問題3の中から1問を選んで、1200字程度で論述しなさい。

問題1

今回の学習指導要領の改訂では、「総合的な学習の時間」について、各学校において定める目標及び内容の取扱いとして、新たに、「目標を実現するにふさわしい探究課題」、「探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力」の二つを定めることが示されました（『小学校学習指導要領（平成29年告示）』、『中学校学習指導要領（平成29年告示）』、平成30年）。

このことを踏まえて、あなたは「総合的な学習の時間」において、どのように学習活動を構想し展開しますか。対象となる学校種や学年、意義やねらい、具体的な学習活動内容を示しながら、あなたの考えを論述しなさい。

問題2

児童生徒の受け手を意識した資料作成や発表の力を高めるために、どのような学習活動を構想しますか。具体的な学校種や教科、学習場面を設定して、あなたの考えを論述しなさい。

問題3

今回の学習指導要領の改訂では、各教科の指導においても「知識及び技能」の習得と「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養という、資質・能力の三つの柱の育成をバランスよく実現することが目指されています。このうち「学びに向かう力、人間性等」は、「どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか」に関わり、「他の二つの柱をどのような方向性で働かせていくかを決定付ける重要な要素である」としています（『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説総則編』、『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説総則編』、平成30年）。

あなたが教科の学習において、自分の「学びに向かう力、人間性等」が育まれたと考える事例を1～2個取り上げ、以下の2点に言及しながら論述しなさい。

- (1) それが教科の学習を通して具体的にどのように育まれたか。
- (2) 育まれた「学びに向かう力、人間性等」が、学校の外の社会や世界と自分が関わることにどのような影響を与えたか。

なお、学校種は自由に設定してかまいません。